

大田桜台 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （ 1～5 組：岡本玲奈 ）

使用教科書： （ 第一学習社『高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切にかつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「歴史の扉」 【知識及び技能】 歴史を構成する様々な資料（史料）を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 資料（資料）の特性と取り扱いに慣れる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し、情報や資料（史料）を収集・調査し、整理・分析し、プレゼンする。	・指導事項 図書館の活用、博物館の活用、インターネットの活用、聞き取り調査、フィールドワーク等 ・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 歴史を構成する様々な資料（史料）を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 資料（資料）の特性と取り扱いに迅速に対応できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を設定し、情報や資料（史料）を収集・調査し、整理・分析し、プレゼンすることができる。	○	○	○	5
	単元「18世紀のアジアの繁栄」 【知識及び技能】 清とヨーロッパ貿易の制限について考える。東アジアの文化・生活について事例をあげる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアでの国際秩序形成について理解する。社会や経済に共通することに目を向ける。 【学びに向かう力、人間性等】 清と東アジア諸国の関係を整理する。東アジアの社会や経済の共通点と相違点を整理する。	・指導事項 「清が東アジアに君臨した」「東アジアは成熟期をむかえた」「人々の政府を自らつくる」「政治は国民のために」「自由主義とナショナリズムが広まった」「イギリスの影響力が世界におよんだ」「イギリスに追いつき、追いこせ」「アメリカは内乱を経て国民統合をはたした」 ・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 1 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 清とヨーロッパ貿易の制限について考え、東アジアの文化・生活について事例をあげることができる。 【思考・判断・表現】 東アジアでの国際秩序形成について理解し、社会や経済に共通することをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 清と東アジア諸国の関係を整理し、東アジアの社会や経済の共通点と相違点を整理することができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元「工業化の進展と国民国家の建設」 【知識及び技能】 ヨーロッパ・アメリカにおける近代化の進捗を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際商業の展開や資本主義の成立を構造的に認識できる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命・市民革命・独立運動がどう人々に影響を与えたか考える。	・指導事項 「砂糖入り紅茶とキャラコに魅せられて」「国産化が世界をつくり変える」 ・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ヨーロッパ・アメリカにおける近代化の進捗度やその背景を理解できる。 【思考・判断・表現】 歴史的見方や考え方を意識し、国際商業の展開や資本主義の成立を構造的に理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命・市民革命・独立運動がどう人々に影響を与えたか分析できる。	○	○	○	8
	単元「結びつく世界と日本の開国」 【知識及び技能】 1860年代における国際情勢を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 政治指導者がどう判断し、それがどう影響を与えていったか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心を抱いた事例をもとに教科書外での探究を進める。	・指導事項 「ヨーロッパがもたらした衝撃」「南アジア・東南アジアの落日」「清と日本が開港をせまられた」「清と日本は外圧に対応した」「日本の国境・領土が定まった」「日本も立憲国家となった」 ・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 1860年代における国際関係を図式化したり、フローチャート化したりできる。 【思考・判断・表現】 政治指導者の思考や判断を考え、その後の影響を把握し、それがどうその後につながっていったか理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心をさらに展開させ、新事実や仮想を立て、それを検証することができる。	○	○	○	7

	定期考査			○	○		1
	<p>単元「帝国主義とアジア諸国の変容」</p> <p>【知識及び技能】 「帝国主義」「社会主義」「共産主義」などの用語を定義づけてみる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植民地とはどういうものか調べ、植民地した地域とそうでない地域の相違点を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「帝国主義」が「資本主義」や「民主主義」の産物であることを把握する。</p>	<p>・指導事項 「可能なら、惑星も併合したい」 「日本は、初の大規模な対外戦争を引き起こした」「日露戦争に世界が注目した」「韓国は植民地となり、清は倒れた」「糸がささえた産業革命」「何のために学ぶのか」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 一人1台端末の活用 等</p>	<p>自分で考えた「帝国主義」「社会主義」「共産主義」などの用語が妥当かどうか検証できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 植民地とはどういうものか調べ、植民地した地域とそうでない地域の相違点を理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「帝国主義」が「資本主義」や「民主主義」の産物であることを理解し、さらに深く考えることができる。</p>	○	○	○	7
	<p>単元「第一次世界大戦と大衆社会」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦がもたらした変化を生活・物資・軍需品などと整理して把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大衆の選択が政治に影響をあたえ、また政治が大衆を利用する過程などを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 なぜ第一次世界大戦が生じ、総力戦となったのか認識できる。</p>	<p>・指導事項 「すべてが戦争に巻き込まれた」「世界初の社会主義国家が誕生した」「世界は国際協調を模索した」「第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの」「朝鮮・中国の民衆が立ち上がった」「空前の繁栄と光と陰」「大衆が政治を動かすはじめた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦がもたらした変化を生活・物資・軍需品などと整理でき、その意義を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 大衆の行動がどう影響を与え、それがどう変容していくのか整理できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 なぜ第一次世界大戦が生じ、総力戦となったのか整理し、分析できる。</p>	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>単元「経済危機と第二次世界大戦」</p> <p>【知識及び技能】 経済の変容と民主主義の在り方を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治的な面だけでなく、経済・社会・文化等の動きから戦争を見つめなおすことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 「恐慌の嵐が吹き荒れる」「大衆は新たな勢力に期待をかけた」「日本と中国の対立が深まった」「世界は戦争の道を歩みはじめた」「ふたたび世界大戦がはじまった」「戦争が終わった」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 経済の変容が国際間の悪化にもつながり、それが紛争の素となることを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 一般的な生活の面からでも無意識のうちに戦争につながる要素があることを認識し、今現在のこととしてそのようなことに結びつきそうな事例を発表する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	7
	<p>単元「第二次世界大戦後の世界と日本」</p> <p>【知識及び技能】 日本が復興した要素を考え、その背景には何があったのか理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の復興を国際情勢の中から考え、どのような要素が日本の復興につながっていったのか理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本人の文化論としてではなく、日本の復興の背景にはどのようなことがあったのか調べてみる。</p>	<p>・指導事項 「新しい世界秩序が築かれた」「日本は連合国に占領された」「冷戦の影響は東アジアにもおよんだ」「日本は新たな道を歩みはじめた」「奇跡の高度成長がはじまった」「アメリカも中国もゆれ動いた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 日本が復興した要素を考え、その背景には何があったのか分析し、各グループごとに調べてみる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の復興を国際情勢の中から考え、国際情勢がどのように変化していったのか考え、日本の復興に必要なものを取り上げてみる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本人の文化論としてではなく、日本の復興の背景にはどのようなことがあったのか理解できる。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元「冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭」</p> <p>【知識及び技能】 冷戦が生じた理由と、冷戦下で客観的姿勢から第三の道を模索した国の動向を考える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下で東西陣営に与しない国家があったこと、冷戦下で同盟関係を結んだ国があったことを整理する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下で冷戦がはなくなった地域を調べ、そこではどのようなことが行われていたのか調べる。</p>	<p>・指導事項 「新しい世界秩序が築かれた」「日本は連合国に占領された」「冷戦の影響は東アジアにもおよんだ」「日本は新たな道を歩みはじめた」「奇跡の高度成長がはじまった」「アメリカも中国もゆれ動いた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦とは何だったのか分析し、冷戦下で客観的姿勢から第三の道を模索した国の動向を調べる。</p> <p>【思考・判断・表現】 どうして冷戦下で東西陣営に与しない国家があり、冷戦下で同盟関係を結んだ国があったのか理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実際に戦場となった地域の様子を多くの資料の中から見出し、戦争の状況を把握し、戦争の悲惨さを理解する。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】 世界的な機関、NGO、自由貿易圏などを把握し、それがどのような活動を具体的に展開しているのか理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 今後の国際社会において、平和を模索するうえで必要な法律や組織とは何か仮説検証する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 今後人類がどのような方向性を示し、どのような社会を目指していくのか考えていく。</p>	<p>・指導事項 「世界を揺るがした2つのショック」「アジアが躍動する」「冷戦が終わり、そしてソ連は消滅した」「唯一の超大国アメリカがゆらいだ」「グローバル化の光と陰」「時代の転換点に立つ」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、図像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界的な機関、NGO、自由貿易圏などを把握し、どのような活動を具体的に展開しているのか説明できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 今後の国際社会において、平和を模索するうえで必要な法律や組織とは何か科学的・客観的に証明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsや新型コロナの問題や在り方、国際紛争の処理方法や軍事力の格差の問題、テロ行動や民族対立など、平和な社会を築くうえで具体的な問題提起ができる。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70